



## 2021年3月の信用金庫の預貸金動向(速報)

— 預金平残は8.3%増、貸出金平残(除く金融機関貸付金)は8.5%増 —

井上 有弘

### ポイント

- 全国254の信用金庫の預金と貸出金について、速報ベースの3月計数がまとまった。預金、貸出金とも月中平残であり、貸出金は金融機関貸付金が含まれていない点に留意願いたい。
- これによると、預金の3月中平残は156.6兆円、前年同月比伸び率は8.3%増。貸出金(除く金融機関貸付金)の伸び率は同8.5%増となった。20年度の信用金庫の貸出金の高い伸びは、コロナ禍で各信用金庫が中小企業の資金繰りを積極的に支援した結果といえる。
- 一巡後の21年度の預金、貸出金については、前年同月比の伸び率が鈍化していくと見込まれる。

### 1. コロナ禍で急増した2020年度の預貸金

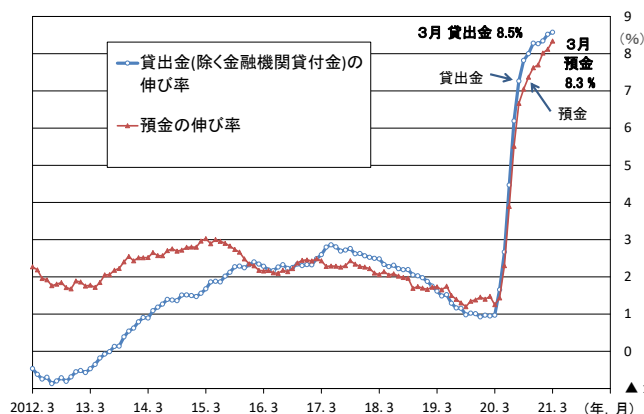
2021年4月5日には大阪、兵庫、宮城の3府県に「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、新年度がスタートした(図表1)。

(図表1) コロナ禍での国内の主な動き

月日	主な動き
2020年4月7日	7都府県に緊急事態宣言を発令
16日	緊急事態宣言の対象を全国に拡大
30日	第1次補正予算成立(持続化給付金、特別定額給付金、GoToキャンペーン事業等)
5月1日	持続化給付金、申請受付開始 特別定額給付金、一部自治体で申請受付開始 都道府県等の制度融資を活用して民間金融機関でも実質無利子・無担保の融資を受けることができる制度開始
25日	緊急事態宣言が全国で解除
12日	第2次補正予算成立(雇用調整助成金の拡充、資金繰り対応の強化、家賃支援給付金の創設等)
19日	全ての都道府県境をまたぐ移動自粛を全国で解除
7月14日	家賃支援給付金の申請受付開始
22日	政府の「GoToトラベル」事業、東京都発着を除いて開始
8月28日	新たな「対策パッケージ」公表、安倍前首相辞意を表明
9月18日	政府の「Go Toトラベル」事業、東京都を発着する旅行商品(10月1日以降)の販売開始
10月1日	政府の飲食店や生産者を支援する「GoToイート」事業、オンライン予約開始
12月14日	政府、GoToトラベルの全国一斉停止を決定
21年1月7日	政府、東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県に緊急事態宣言を再発令
13日	政府、大阪・兵庫・京都の関西3府県、愛知・岐阜の東海2県、福岡、栃木の7府県に緊急事態宣言を再発令
15日	持続化給付金・家賃支援給付金の申請期限
19日	経済産業省、民間金融機関による実質無利子・無担保の制度融資の上限額を4,000万円から6,000万円へ引上げ
2月2日	政府、栃木県を除く10都府県を対象に緊急事態宣言の3月7日までの延長を決定
26日	菅首相、緊急事態宣言 首都圏を除く6府県 2月末で解除表明 菅首相
3月5日	菅首相、首都圏の1都3県の緊急事態宣言について3月7日の期限を2週間延長し21日までとすることを表明
22日	東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県の緊急事態宣言が解除され、全面解除
26日	令和3(2021)年度予算成立
4月5日	「まん延防止等重点措置」を大阪、兵庫、宮城で適用

(備考) 各種資料より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表2) 信用金庫の預金・貸出金伸び率の推移



(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成  
2. 預金は月中平残、貸出金は通常の定義と異なり金融機関貸付金を除く月中平残

21年3月の信用金庫の計数については、決算補正後の確定が6月となるため、速報ベースの計数をもとに、20年度の動向を振り返る。このため、通常の年度末計数と異なり、預金、貸出金とも月中平残であり、貸出金には金融機関貸付金が含まれていない点に留意願いたい。

全国254信用金庫の預金残高の合計は、3月中平残で156.6兆円、伸び率は前年同月比8.3%増、貸出金は同8.5%増となった(図表2)。

預金、貸出金とも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、20年春以降、伸び率を高めている。主因は、資金繰り支援のための企業向け運転資金の増加と、その資金の預金口座での滞留である。また、個人預金の増加要因は、各種給付金やコロナ禍での消費抑制などである。

## 2. 貸出金の動向

貸出金(除く金融機関貸付)について、貸出先別データが把握できる21年2月末の寄与度をみると、前年同月比8.5%増のうち8.8ポイントが企業向け運転資金による寄与であった(図表3)。一方、企業向け設備資金の寄与は△0.1ポイント、個人向けの寄与は△0.1ポイント、地方公共団体向けの寄与は△0.0ポイントと、企業向け運転資金以外はマイナスの寄与であった。

20年度の信用金庫の貸出金の高い伸びは、民間金融機関でも5月から利用可能となった実質無利子・無担保の制度融資などで、コロナ禍で各信用金庫が中小企業の資金繰りを積極的に支援した結果といえる。

## 3. 預金の動向

同様に預金(月中平残)について、預金者別に2月の寄与度をみると、預金全体の伸び率である前年同月比8.1%増のうち、4.4ポイントが法人預金、2.8ポイントが個人預金、0.6ポイントが公金預金による寄与であった(図表4)。

法人預金の急増は前述の資金繰り資金や持続化給付金など各種給付金の預金口座での滞留、個人預金の増加は1人一律10万円の特別定額給付金のほか、個人消費の抑制、個人事業主の預金口座に事業者向け各種給付金や資金繰り資金が滞留しているためと考えられる。また、公金預金については、制度融資に伴う預託金の影響もあるとみられる。

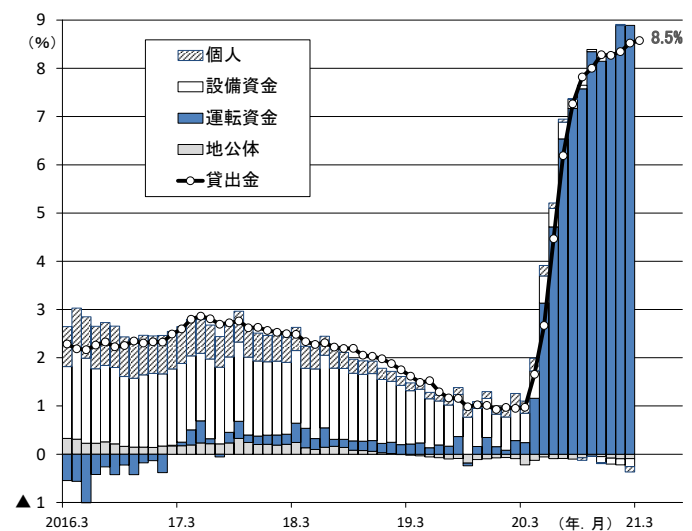
## 4. 今後の動向

1年前の20年3月末の預金伸び率は1.2%増、貸出金は同0.9%増、20年4月末の預金は同1.6%増、貸出金は同1.9%増であった。資金繰り支援で伸び率が高まり始めたのは同年4月、実質無利子・無担保の制度融資が民間金融機関で開始されたのが5月、利用のピークは6月であった(図表5)。

このため、一巡後の21年度の信用金庫の預金、貸出金については、前年同月比の伸び率が鈍化していくと見込まれる。以上

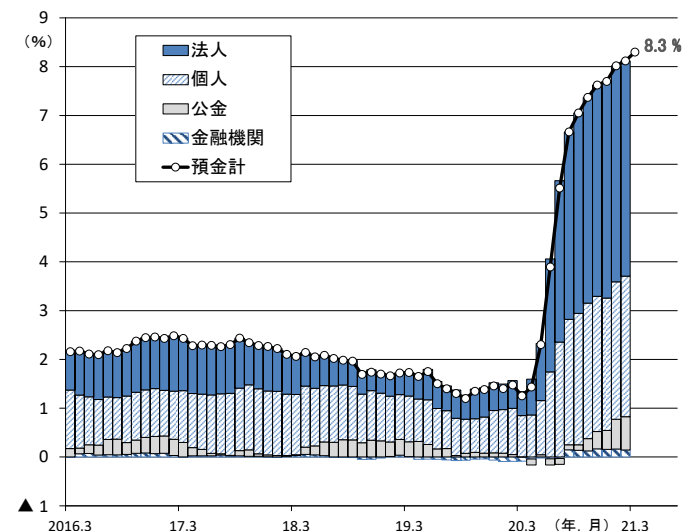
※2021年3月末の「信用金庫地区別預金・貸出金残高(速報)」は、4月9日頃に信用金庫に還元する予定です。併せてご活用ください。

(図表3) 貸出金の動向(前年同月比増減率と寄与度)



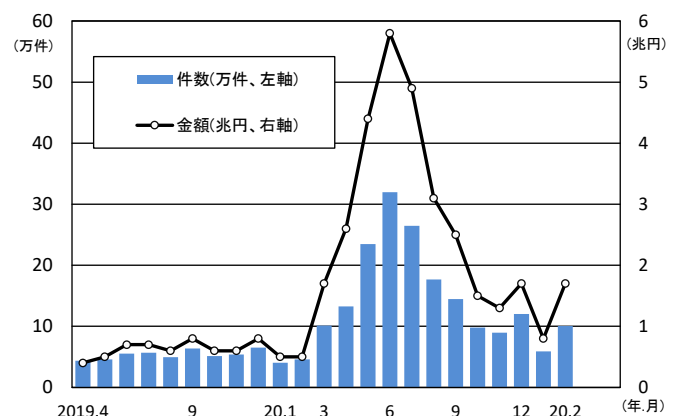
(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成  
2. 貸出金は、金融機関貸付金を除く月中平残、内訳は末残

(図表4) 預金の動向(前年同月比増減率と寄与度)



(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成  
2. 預金は、すべて月中平残

(図表5) 信用保証協会の保証承諾実績の推移



(備考) 全国信用保証協会連合会資料より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。